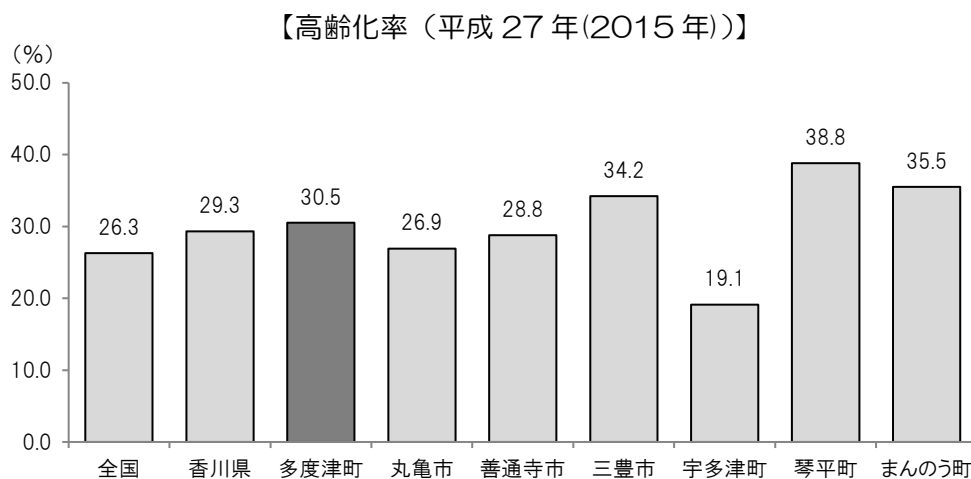


# 介護保険に関する地域分析

## 1 高齢化率

多度津町の高齢化率は30.5%で、全国平均(26.3%)を大きく上回っています。香川県平均(29.3%)よりやや高く、近隣市町の中では平均的な割合です。



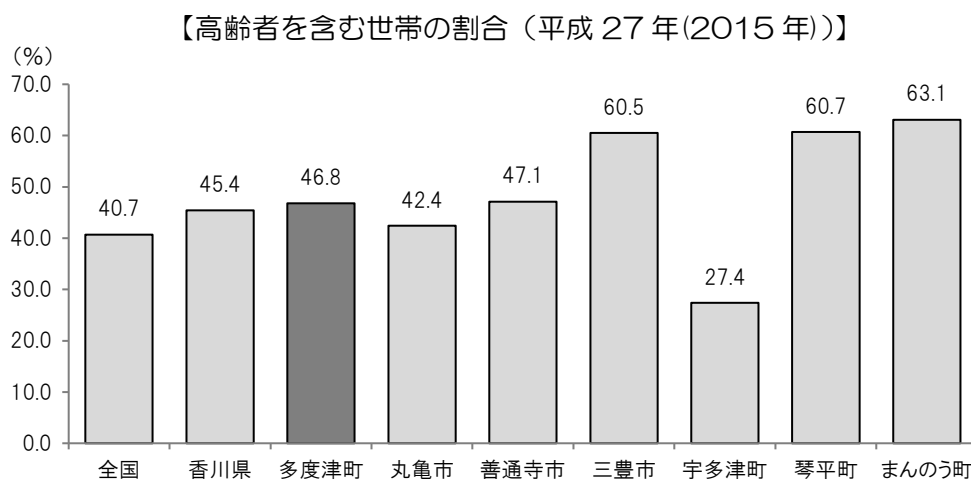
(時点) 平成27年(2015年)

(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

資料出所: 地域包括ケア「見える化」システム(R3. 2. 18取得)

## 2. 高齢者を含む世帯の割合

2015(平成27)年の多度津町の高齢者を含む世帯の割合は46.8%で、全国平均(40.7%)、香川県平均(45.4%)を上回っています。近隣市町の中では平均的な割合となっています。



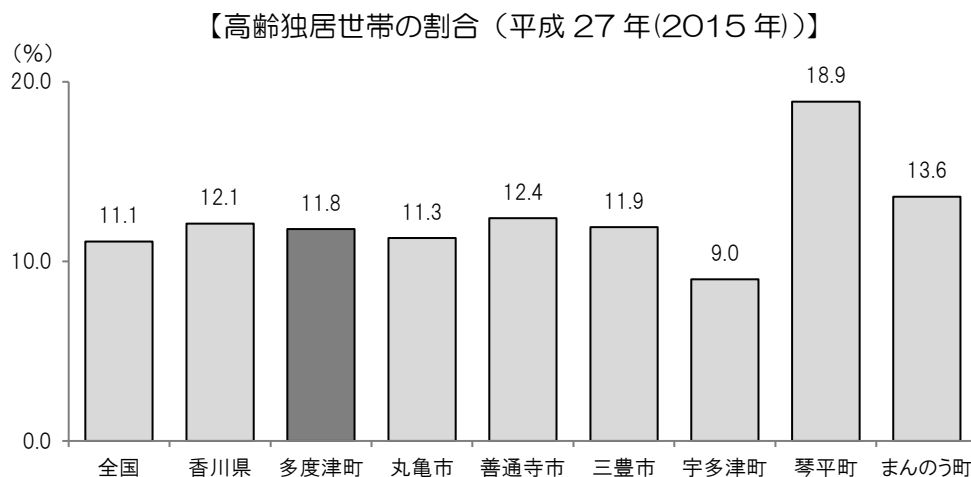
(時点) 平成27年(2015年)

(出典) 総務省「国勢調査」

資料出所: 地域包括ケア「見える化」システム(R3. 2. 18取得)

### 3. 高齢独居世帯の割合

多度津町の高齢独居世帯の割合は11.8%で、全国平均(11.1%)より高く、香川県平均(12.1%)より低い割合となっています。近隣市町の中では平均的な割合となっています。

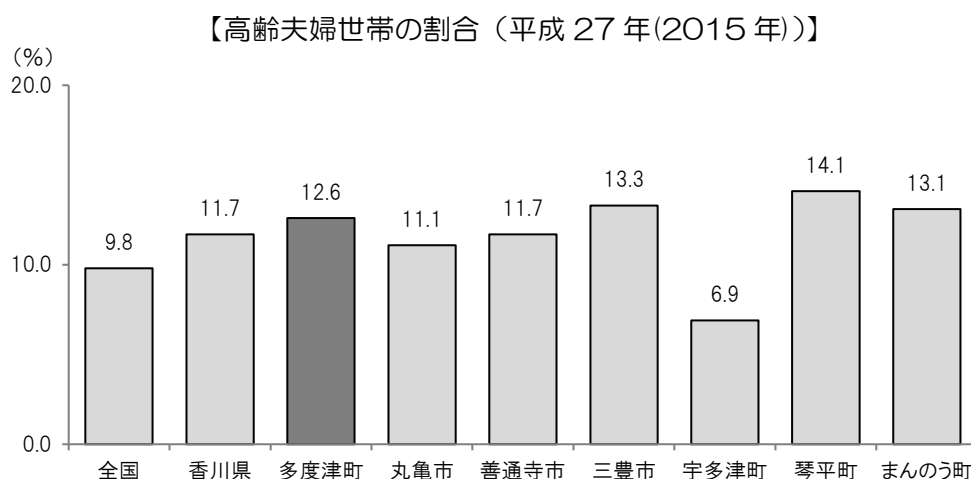


(時点) 平成27年(2015年)  
(出典) 総務省「国勢調査」

資料出所：地域包括ケア「見える化」システム(R3.2.18取得)

### 4. 高齢夫婦世帯の割合

多度津町の高齢夫婦世帯の割合は12.6%で、全国平均(9.8%)、香川県平均(11.7%)を上回っています。近隣市町の中では平均的な割合となっています。



(時点) 平成27年(2015年)  
(出典) 総務省「国勢調査」

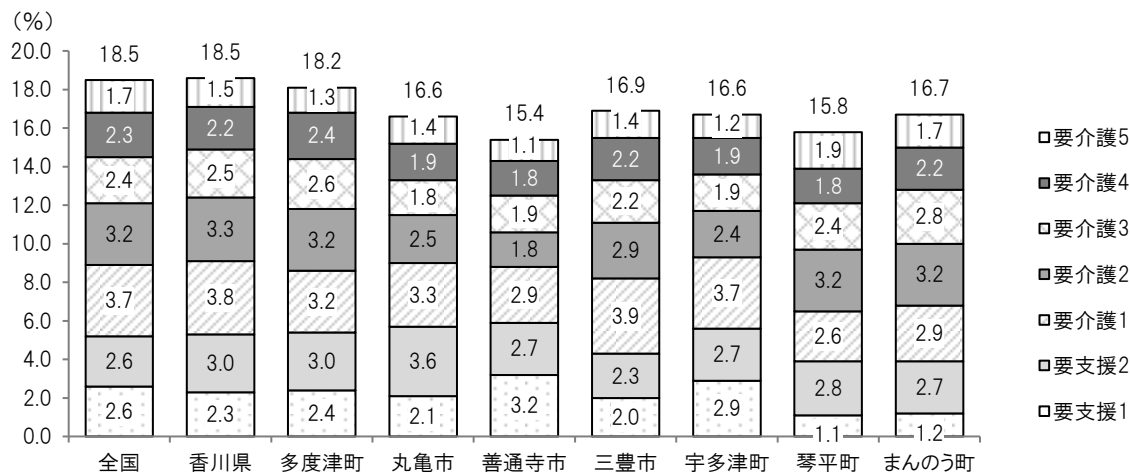
資料出所：地域包括ケア「見える化」システム(R3.2.18取得)

## 5. 調整済み認定率

調整済み認定率※をみると、多度津町は 18.2%で、全国平均（18.5%）と香川県平均（18.5%）を下回っていますが、近隣市町の中では最も高くなっています。

※調整済み認定率とは、認定率の大小に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外し、「どの地域も全国平均と全く同じ性・年齢構成である」と仮定して計算したものです。

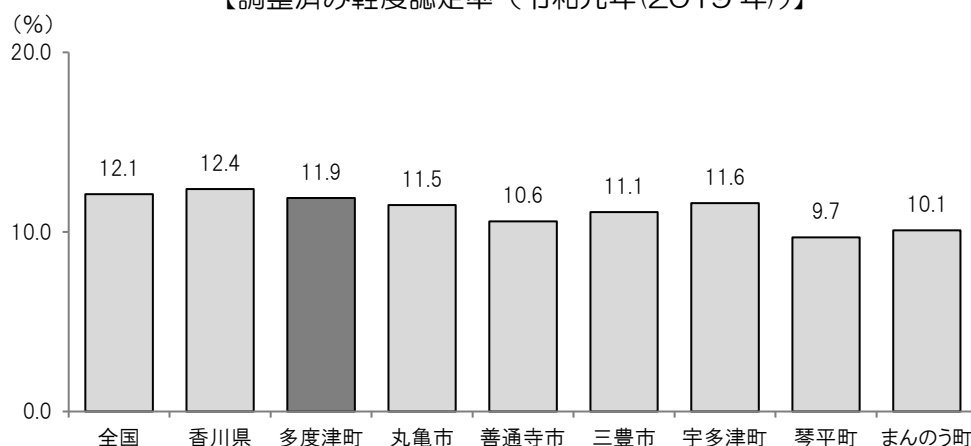
【調整済み認定率（要介護度別）（令和元年(2019年)）】



（時点）令和元年(2019年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

【調整済み軽度認定率（令和元年(2019年)）】

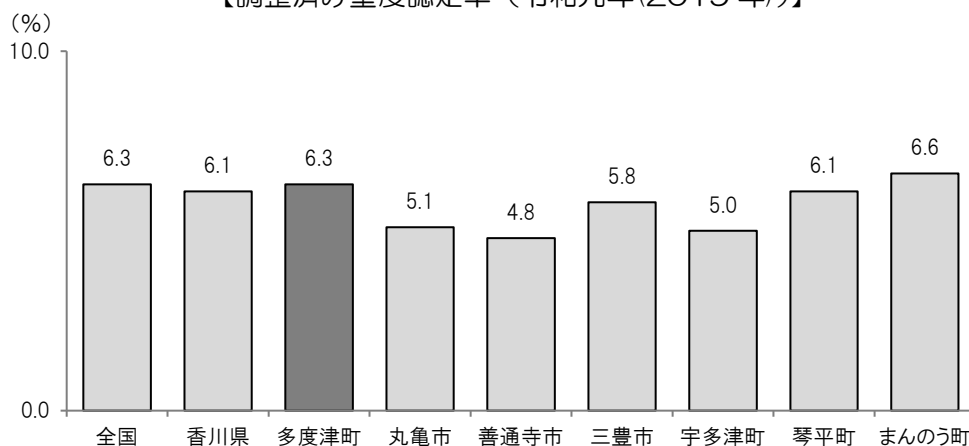


（時点）令和元年(2019年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

資料出所：地域包括ケア「見える化」システム(R3.2.18取得)

【調整済み重度認定率（令和元年(2019年)）】



(時点) 令和元年(2019年)

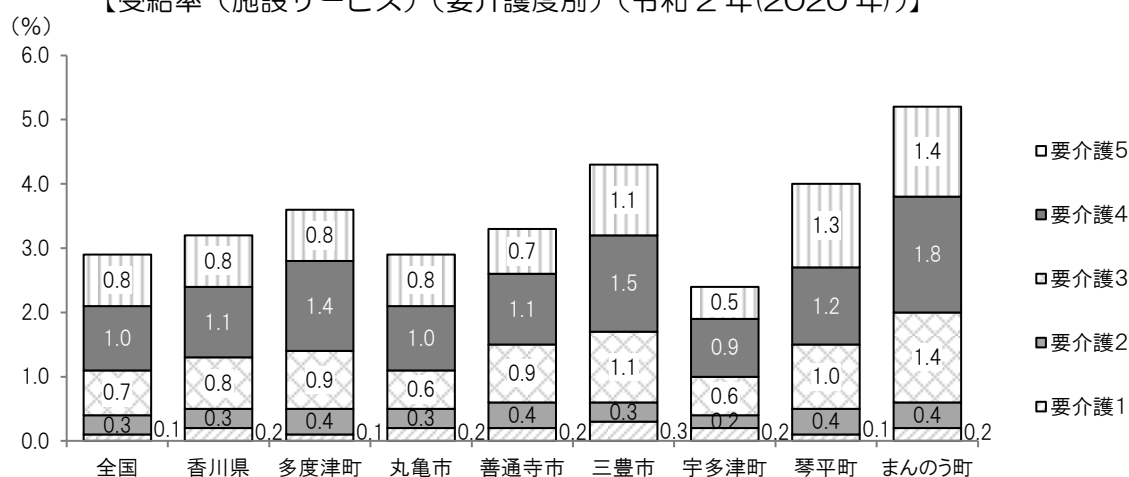
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

資料出所：地域包括ケア「見える化」システム(R3.2.18取得)

## 6. 受給率（サービス系列別、要介護度別）

2020（令和2）年の多度津町のサービス系列別の受給率は、施設サービスと居住系サービスは香川県平均、全国平均を上回っています。在宅サービスは、全国及び香川県平均を下回っています。いずれのサービスも近隣市町の中で中位に位置しています。

【受給率（施設サービス）（要介護度別）（令和2年(2020年)）】

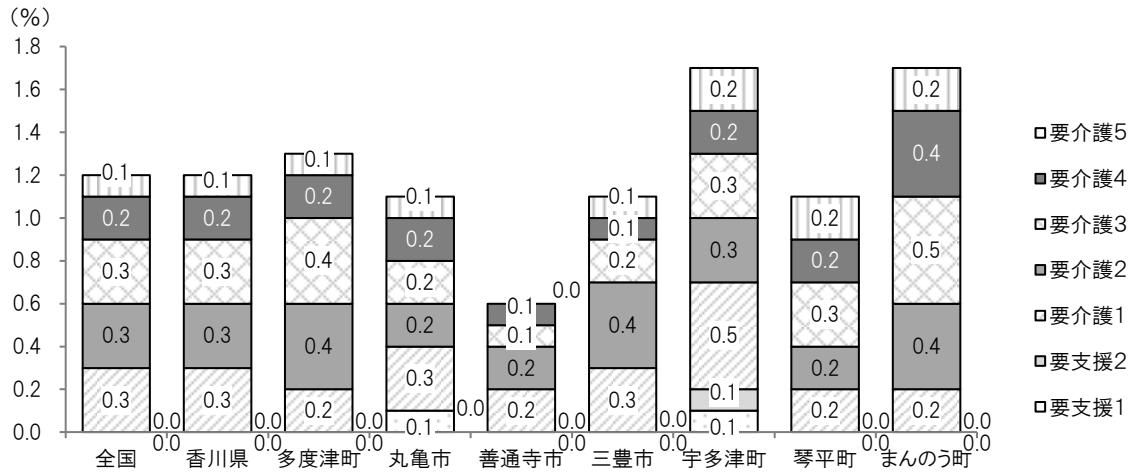


(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元、2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

資料出所：地域包括ケア「見える化」システム(R3.2.18取得)

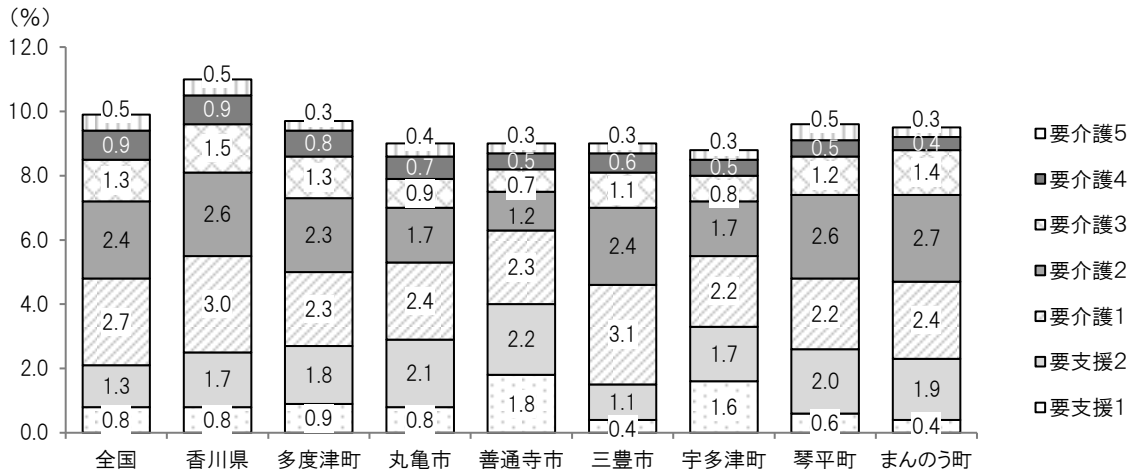
【受給率（居住系サービス）（要介護度別）（令和2年(2020年)）】



(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和元、2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

【受給率（在宅サービス）（要介護度別）（令和2年(2020年)）】



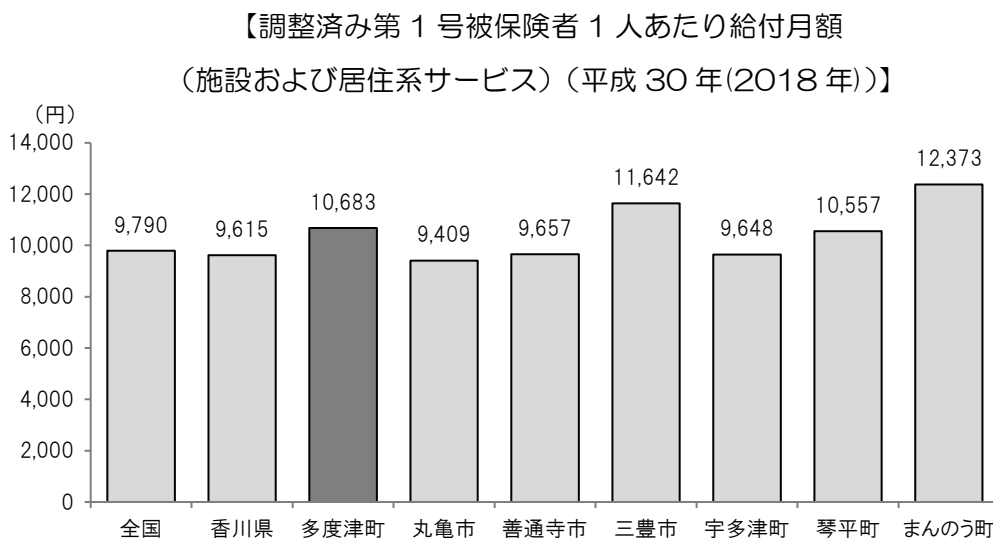
(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和元、2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

資料出所: 地域包括ケア「見える化」システム(R3.2.18取得)

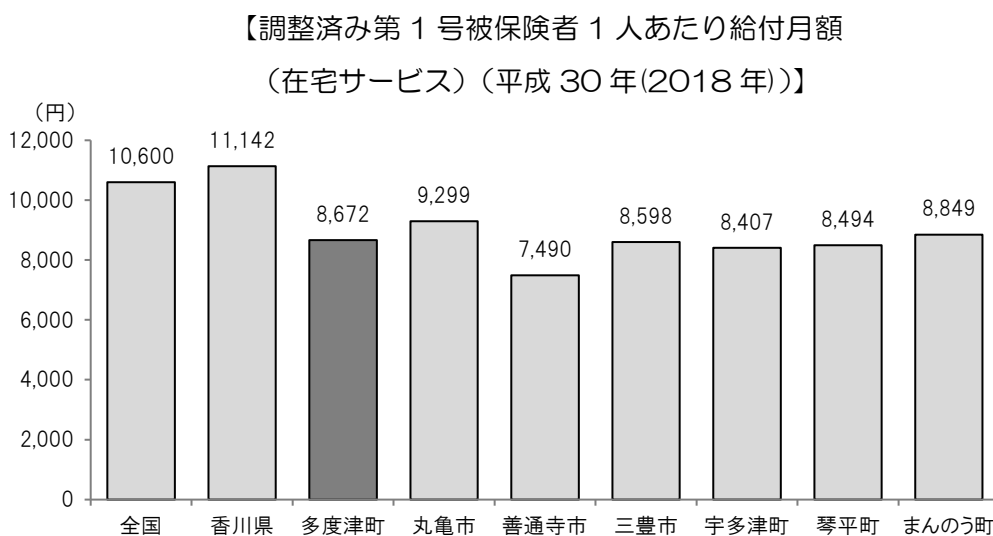
## 7. 給付月額

多度津町の第1号被保険者1人あたり給付月額は、全国平均及び香川県平均と比べ施設および居住系サービスは高く、在宅サービスは低くなっています。



(時点) 平成30年(2018年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

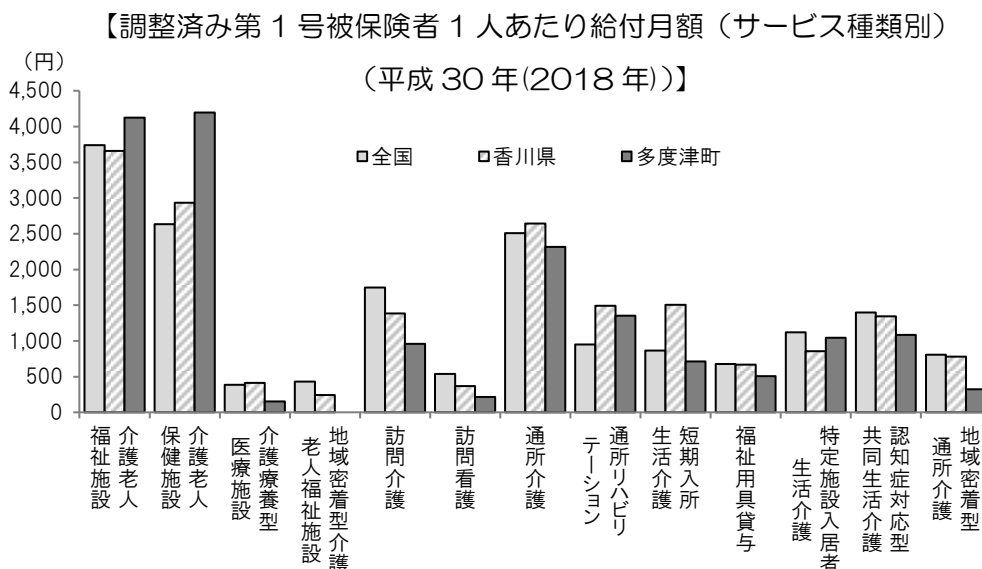


(時点) 平成30年(2018年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

資料出所：地域包括ケア「見える化」システム(R3.2.18取得)

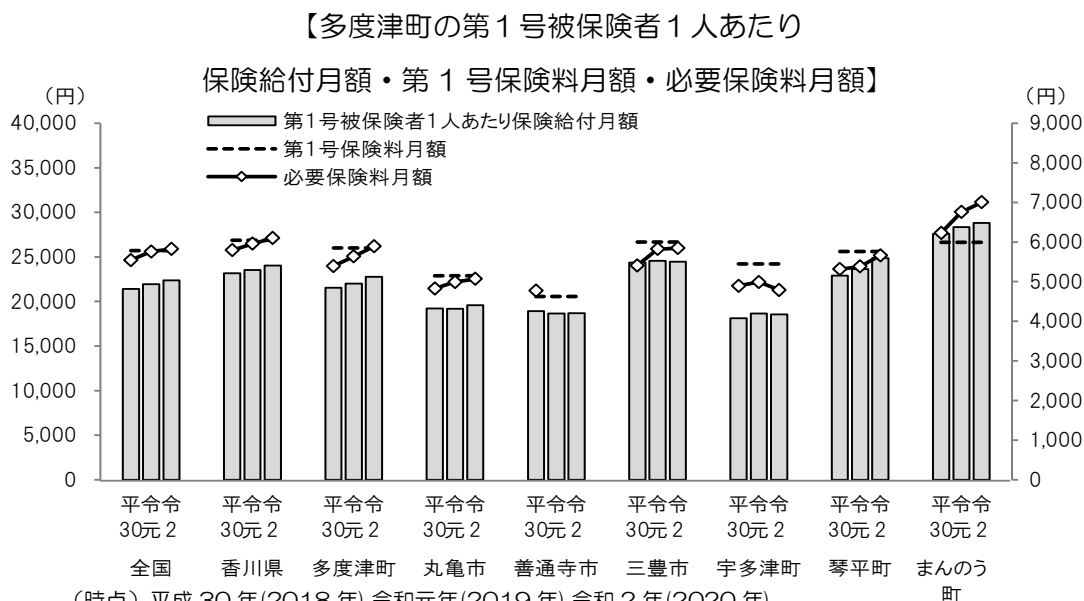
調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス種類別）は、全国平均及び香川県平均と比べて介護老人福祉施設、介護老人保健施設の給付月額が高く、訪問介護は、全国、香川県を下回っています。施設依存度が高い傾向です。



(時点) 平成30年(2018年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」  
本指標は比較的用户の多い介護サービスの集計を行っております。

第1号被保険者1人あたり保険給付月額は、全国平均とほぼ同様に推移しており、必要保険料月額は第1号保険料月額を各年とも下回っています。



(時点) 平成30年(2018年)、令和元年(2019年)、令和2年(2020年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和元、2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および介護保険事業計画報告値

令和元年度は、令和2年2月サービス提供分まで、令和2年度は令和2年8月サービス提供分までの数値を用いて、当該年度の指標値を算出しています。

資料出所：地域包括ケア「見える化」システム(R3.2.18取得)

## 8. 介護保険料基準額の推移

多度津町の保険料基準額は、第6期まで全国平均、香川県平均を下回っていましたが、第7期で全国平均を上回りました。

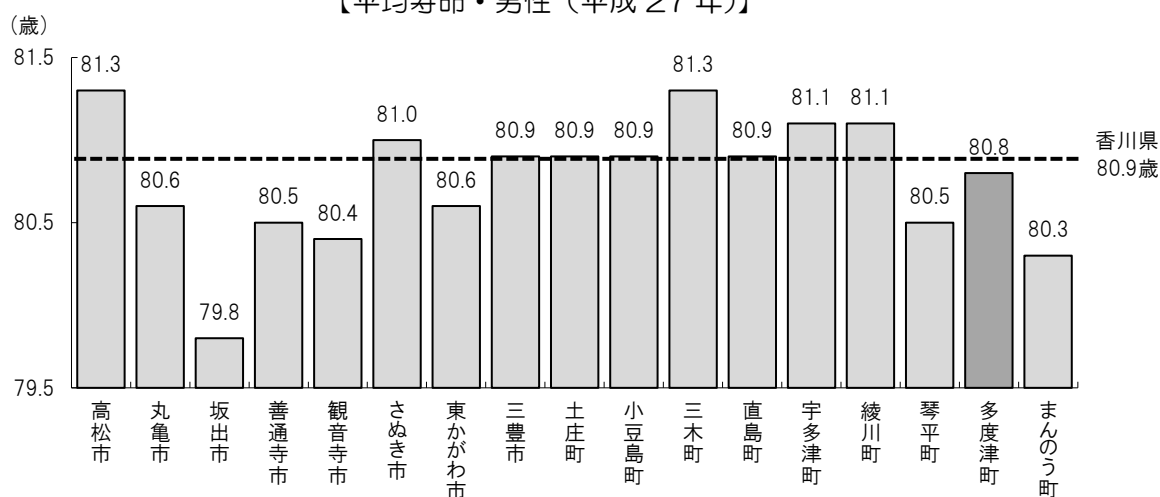
	全国	香川県	多度津町	丸亀市	善通寺市	三豊市	宇多津町	琴平町	まんのう町
第5期	4,735	4,903	4,500	4,750	3,883	4,850	5,075	5,279	5,067
第6期	5,405	5,452	5,400	5,000	4,625	5,400	5,300	5,764	5,600
第7期	5,784	6,048	5,850	5,150	4,625	6,000	5,450	5,764	5,997

資料出所: 地域包括ケア「見える化」システム(R2.4.17取得)

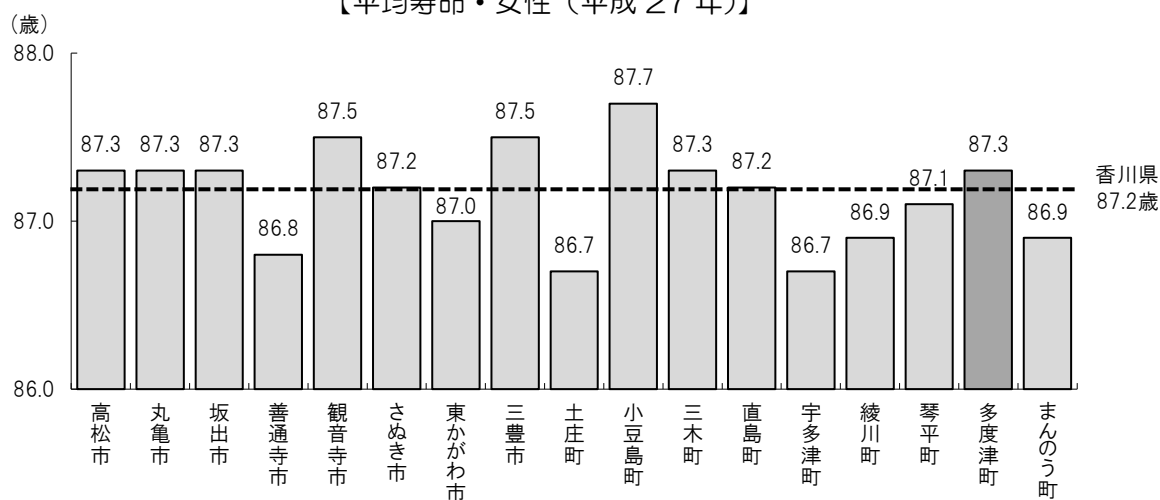
## 9. 平均寿命

多度津町の平均寿命は、男女とも県平均に近づいています。

【平均寿命・男性（平成27年）】



【平均寿命・女性（平成27年）】



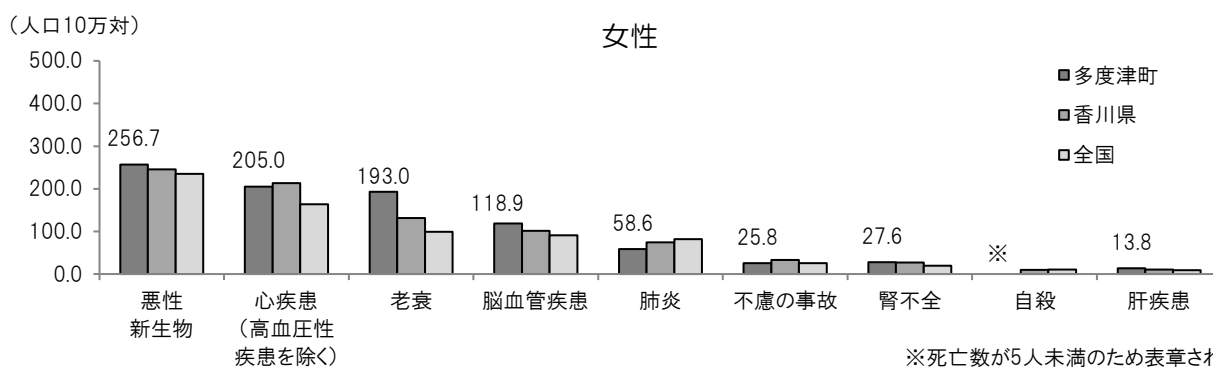
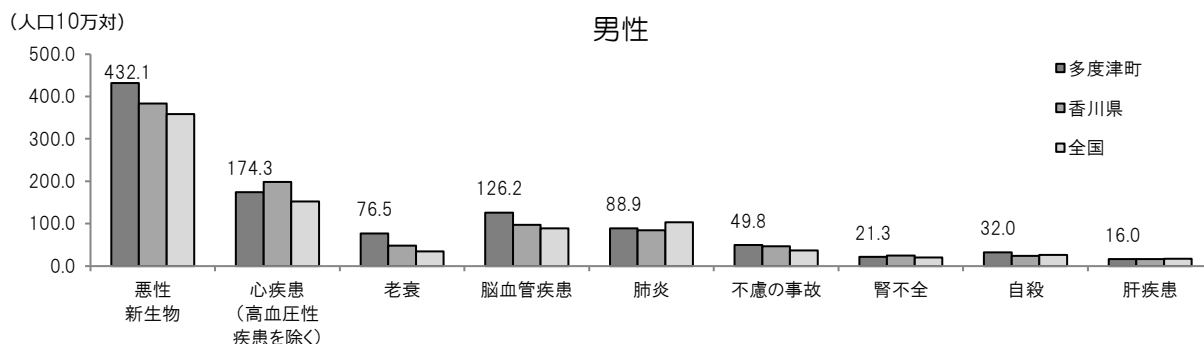
資料出所: 平成27年市区町村別生命表



## 10. 10万人あたり死亡率（平成25年～平成29年）

全国と比べ、男女とも「悪性新生物」「心疾患（高血圧性疾患を除く）」「老衰」「脳血管疾患」の死亡率が高くなっています。一方、肺炎の死亡率は全国よりも低くなっています。

【10万人あたり死亡率】

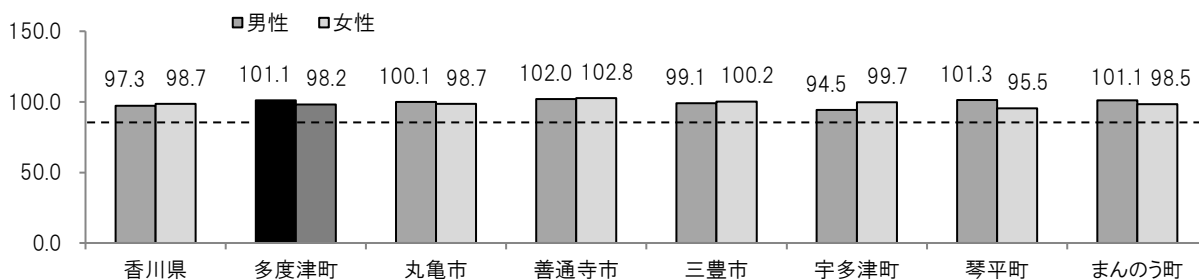


資料出所: 人口動態保健所・市町村別統計(平成25年～平成29年)

## 11. 標準化死亡率 - 死亡総数（平成25年～平成29年）

標準化死亡率（全国を100としたときの死亡率）をみると、多度津町の女性は98.2と低くなっています。

【標準化死亡率】

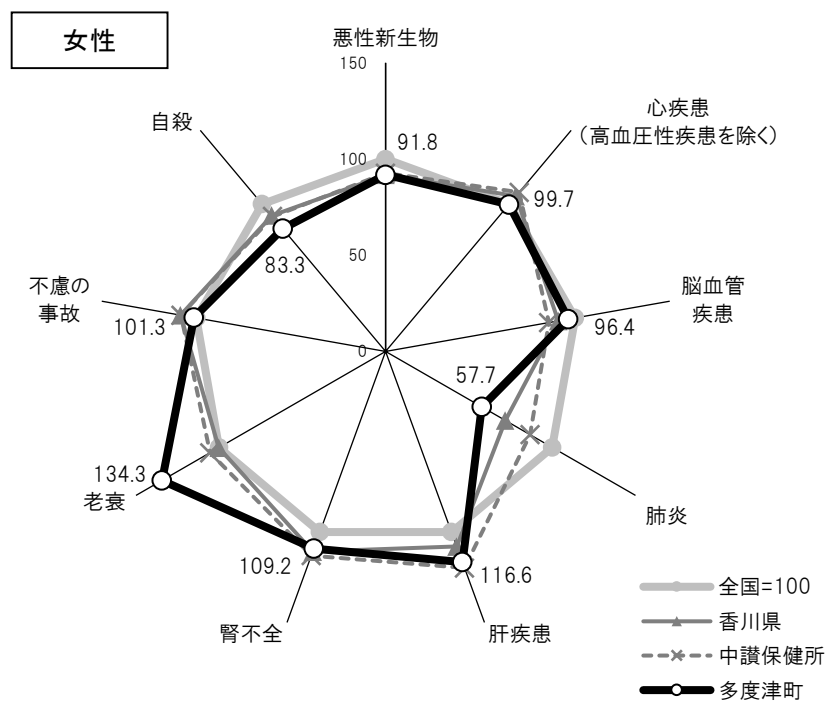
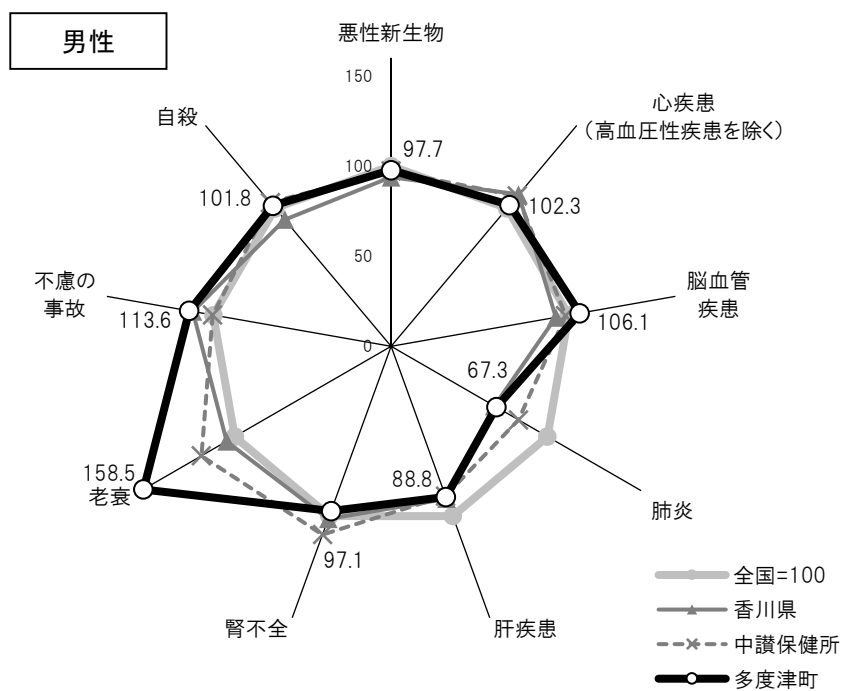


資料出所: 人口動態保健所・市町村別統計(平成25年～平成29年)

## 12. 主要死因別標準化死亡率（平成25年～平成29年）

男女とも「老衰」の標準化死亡率が全国と比べて高く、「肺炎」が低い傾向にあります。

【主要死因別標準化死亡率】



資料出所: 人口動態保健所・市町村別統計(平成25年～平成29年)

### 13. 多度津町第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）にみる健康課題

介護保険と関連のある健康課題について、多度津町第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）から、以下のとおり抜粋しました。

#### ■特定健康診査・特定保健指導の実施状況

- 特定健康診査受診率は、平成27年度（46.4%）まで微増していましたが、平成28年度は45.2%に低下しました。県内市町平均の42.5%に比べると高いものの、平成28年度の目標値57.0%とのかい離が大きくなっています。
- 年齢階層別に受診率をみると、年齢層が上がるほど受診率は高くなっています。50歳代前半までは受診率が20%台であるのに対して70歳代前半では約55%となっています。また、すべての年齢層で男性よりも女性の受診率が高くなっています。
- 平成29年度の特定健康診査対象者において、平成24年度から平成28年度までの5年間で特定健診を一度も受診したことがない人は、40歳代で77.0%となっています。また、5年間毎年継続して受診している人は、65歳未満では10%前後、40歳代では1.2%となっており、若年層（40～50歳代）への受診勧奨だけではなく、継続受診の勧奨も必要となっています。
- 特定保健指導の実施率は、平成27年度以降は15%程度であり、県平均、全国平均を下回っています。特に40歳代男性は受診者の22%が積極的支援の対象者であるにもかかわらず、実施率は10%と低い数値となっています。

#### ■生活習慣病の状況

- 50歳を超えると、糖尿病罹患者の割合が大きくなっています。
- 糖尿病受診勧奨対象者のうち、受診した人の割合が23%と低い状況です。